

## 絵描きのノチャ

昔々、古代中国にとっても裕福で偉い皇帝がいました。彼は、芸術や絵画がとても好きでしたが、非常に意地悪な性格をしていました。ある日、彼は、ほかの国の王様や大使を迎え入れるための大広間が中央にある新しい宮殿を造らせました。そして、その大広間に、特別な絵、これまでに見たこともないような絵を所望しました。

そこで、よい画家を探すために彼の領土全体に使者を送りました。使者は、中国の隅々にまで出向きました。条件は特別なものでした。画家は絵を描くためにまるまる1年間をもらい、その1年間は何も支払う必要がなく、食事、飲み物、衣服、絵の具など必要なものはすべて皇帝が負担することになっていました。きっかり1年が経ったときに、皇帝が新しい宮殿に行き、部屋に入ってその絵が気に入れば、素晴らしいことに、画家はそれ以上働く必要はなく、死ぬまでの一切を支払ってもらいます。しかし、もし皇帝が絵を気に入らなかつたら、画家はその場で首をはねられることになっていました。

中国には偉大な画家たちがいましたが、その条件を聞くと、だれも受け入れようとはしませんでした。怖かったからです。「もし皇帝が私の絵を気に入らなかつたら... 私は首をはねられる。なんて恐ろしいことだ...」

こうして使者は、ある小さな村で条件を受け入れたひとりの画家を見つけたら、中国の隅々にまで回りました。

彼はノチャという名前で、とても感じのいい人でした。彼に再び、条件が繰り返して伝えられると、彼は自分ならできるから心配はいらないと言いました。

使者は絵描きのノチャとともに宮殿まで行き、作業するその年に暮らすことができるように準備された小さな家を彼に見せました。食事や飲み物も衣服も豊富にありました。足りないものがあれば、そのように言うだけで済みました。そしてまた、彼は絵を描かなければならない大広間に案内されました。使者は、ぴったり1年後に期限が切れますよと念を押して、絵描きのノチャに別れを告げました。

最初の3ヶ月が過ぎ、皇帝は絵のことに好奇心を覚ええました。「絵描きのノチャはどんな主題を選んだのだろう？絵はどうなっているのだろう。」そこで、彼は報告させようと二人の使者を新たな宮殿に送りました。

使者が大広間に入ると、誰も見つけることができませんでした。不思議なことに、壁は完全に真っ白でした。絵描きのノチャを探しましたが、見つけることはできませんでした。「なんて奇妙なことだ。」と使者は思いました。

宮殿に戻り、皇帝に報告しました。皇帝は使者の報告を聞くとたいそう驚き、怒るべきかどうか、どうすべきかわかりませんでした。しかし、「待とう、まだ9ヶ月残っている。」と言いました。

期限の半年前となったとき、「今度こそ、なにがしかの絵を見ることのできるだろう。そうでなかったら、完成させる時間はないだろう。」と皇帝は考えました。再び、絵の状況を確認するため二人の使者を送りました。

使者が大広間に入ると、壁は完全に真っ白なままでした。筆を入れたあともなければ、なにもありませんでした。今回は、家で静かに本を読んでいる絵描きのノチャを見つけました。

使者は戻って皇帝に報告をしました。皇帝は、今度こそ怒り出しました。「きっと、あの絵描きのノチャは余のことを笑いたいのだ。」と言いました。「だが、誰が最後に笑うのか、じきにわかるだろう。」そして、「まだ6ヶ月ある、待とう。」と付け加えました。

あと1ヶ月というところで、皇帝は再び二人の使者を送りました。いつもと同じ、壁は完全に真っ白で、今度は絵描きのノチャは昼寝をしているところでした。皇帝は、激怒しました。

1年となる日がやってきました。皇帝は兵士12名、死刑執行人1名とともに、新たな宮殿へと向かいました。部屋に入ると、案の定、壁は真っ白でした。直ちに絵描きのノチャが呼び出され、皇帝は彼に言いました。

「おまえは1年間も私を笑っていたんだな。だが今度、おまえを笑ってやるのは余だ。」と叫びました。「首をはねよ！」

「お願いです、ちょっと、ちょっとだけ待ってください。」と絵描き

のノチャが言い返しました。「30分だけです。」

絵描きのノチャは筆を取り、白壁に見事な龍を描き始めました。すばらしい。皇帝は、同様のものを見たことはありませんでした。たった30分で、描き終わりました。

「驚いた。おまえの勝ちだな。一生働かないでいられるぞ。」と皇帝は満足して言いました。「だが、教えてくれ。どうして30分でこの絵を描くことができたのだ。」と皇帝は不思議そうに尋ねました。

絵描きのノチャは、皇帝とともに自分の家に行き、破けてぐしゃぐしゃになった紙片でいっぱいになっている床を見せました。

「私は、毎日、この紙片に龍を描いておりました。しかし、満足できずに破ってしまいました。このように1日1枚365もの龍を描くまでになりました。そのため、今日は30分で龍を描くことができたのです。」と絵描きのノチャは説明しました。

「おめでとう、おめでとう」と皇帝は言いました。

めでたし、めでたし、これでおしまい。